

史釋

虛生實草紙 卷之上

江都通油町 葛重梓行



京傳作

和莊兵衛 上
後日話 通油町葛屋版

13
2056
17



虚生寺

自叙

道蒙 寓言あり。佛家も方便あり。吾家も
何れ市人の意也。阿曾の室も
行移りて虚かたれど。是皆家公齊へ身を
修めり。虚めり。中小にあり。實と生と虚
雑劇の。實なるあり。根
故小世辞とありて。心号あり。

寛政九丁巳初春

山東宗傳識





世の人の...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...



おろしとわらわらあつし
これとわらわらあつし
おのれとわらわらあつし
そのあつしとわらわらあつし
あけつしとわらわらあつし



おろしとわらわらあつし
これとわらわらあつし
おのれとわらわらあつし
そのあつしとわらわらあつし
あけつしとわらわらあつし



おろしとわらわらあつし
これとわらわらあつし
おのれとわらわらあつし
そのあつしとわらわらあつし
あけつしとわらわらあつし

おろしとわらわらあつし
これとわらわらあつし
おのれとわらわらあつし
そのあつしとわらわらあつし
あけつしとわらわらあつし



おろしとわらわらあつし
これとわらわらあつし
おのれとわらわらあつし
そのあつしとわらわらあつし
あけつしとわらわらあつし

おろしとわらわらあつし
これとわらわらあつし
おのれとわらわらあつし
そのあつしとわらわらあつし
あけつしとわらわらあつし

京傳作

赤牛先生曰すまの
 のりをあめはなは
 ともききれはし
 とぬきもたを
 らにけつらあは
 るをわらわす
 とてやうさうの
 人ぞしんぞう
 きんしんぬ
 あれれんん
 づいありさ
 つくはあは
 言はれはま
 おのれくがの
 おまのい
 下んま
 ずんこんん
 くれでめく
 うらまま

もはりの推
 右は店はあま
 けいこ入き
 めうしと
 字本付
 うら



